

受験上の注意

- 1) 試験室の案内は、試験当日、試験場内に掲示します。
- 2) 試験場内の下見はできません。
- 3) 試験場では試験監督者の指示に従ってください。
- 4) 試験室（面接控室）では、机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。
- 5) 受験票は机の上の受験番号と並べて置いてください。
- 6) 試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、試験監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
- 7) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- 8) 試験中気分が悪くなった場合は、試験監督者に申し出てください。ただし、休養等に要した時間の延長は認めません。
- 9) 試験監督者の指示があるまでは試験室から退室できません。
- 10) 緊急時、本学ウェブサイト上あるいはメール配信等により告知を行うことがあります。

不正行為について

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、同日に受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、当該試験の検定料は返還しません。

- 1) カンニング（試験時間中に試験の教科・科目に係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、参考書の内容や他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- 2) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- 3) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- 4) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- 5) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- 6) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- 7) 「解答やめ。筆記用具をおいてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- 8) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類や定規、コンパス、電卓等の補助具、参考書をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

成績開示について

一般入試不合格者のうち、希望者（受験者本人に限る）に対し、以下のとおり入学試験の成績を開示します。成績開示申請方法等の詳細は、2020年4月以降に本学受験生サイト TG-LIFE に掲載します。

- 1) 成績開示対象入試
一般入試1期、2期、3期
- 2) 開示内容
科目別得点、2科目合計得点および合格最低点